

## 令和7年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	大淀町役場			代表者名	町長 辻本 眞宏
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務課	連絡先電話番号	0747-52-5501
担当者役職	主事	担当者氏名	竹田 裕亮	連絡先E-mail	
住所	638-8501 奈良県大淀町2090				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署			
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名	被災者支援システムの活用・自治体DXの推進		
概要	・被災者支援システムにおいて、そもそものシステム活用の在り方と、クラウド型被災者支援システムへの移行など、今後の展開等も含めて助言いただきたい。 ・自治体DXの推進について、他の自治体事例を踏まえ、具体的にどのような運用形態が望ましいのか、またそのプロセス等についてご教授いただきたい。				
支援を求める分野	人材（DX推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 防災 自治体システムの標準化・共通化				

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和7年8月1日	事前打合せ(オンライン)	9時00分	10時20分	
			活動時間（分）	80	
2-2. 派遣場所	会場名	オンライン	最寄駅	オンライン	
	所在地	オンライン	最寄駅からの交通手段	オンライン	

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	内藤 潤三
評価	大変良い
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	今回被災者支援システムと自治体DXの2つのテーマで依頼をさせていただいたが、いずれのテーマも、実際に内藤様が平群町や大崎上島町で取り組まれていた話を交えながら、具体的目つともわかりやすくご説明いただいた。また、もともと平群町にお勤めでおられたこともあり、県内の状況に対して非常に理解のある方で、会議の打ち合わせもスムーズに進行した。
アドバイザーへの要望事項	特になし

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	5人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
人数	5	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	（被災者支援システム）住基更新を手作業で行っており、効率的な実運用ができていないことが課題。 （DX）職員数の削減を進めるなか1人あたりの業務量が増加しており、業務改革が必至の課題となっている。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	（被災者支援システム）職員誰もが使用できる環境の構築 （DX）業務効率化による各職員の業務負担減

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	事前打ち合わせであるため導入部分ではありますが、現在の町の現状を理解いただいたうえで、具体的にどう進めていくべきか、実際に取り組みまれてこられた実例を踏まえつつ、将来あるべき姿についてわかりやすく説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	町の状況を理解いただいたうえで、各テーマ具体的にどう打開していくかをお話くださり、現状を変えていくために、今回のように第三者の視点を入れることが望ましいとの助言をいただいた。職員1人1人の意識は環境が変われば、自ずと後から変化していく。その方向性を示してくれる専属の職員を県から派遣してもらう等、実際広島県で採用されている派遣制度の紹介もいただいた。質疑を通して、改めて本町の課題点を再認識した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
	(被災者支援システム) 現状のスタンドアローンでの利用は望ましくないことがわかりました。職員が皆アクセスできる環境を構築するために必要な手順等について、次週の実施研修で詳しく伺います。 (DX) 本町が利用しているネットワーク回線等の情報共有、内藤氏が在籍している広島県大崎上島町での取組・現状を知ることができました。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 実施なし	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③现阶段では課題・問題が残っているため未定 事前打ち合わせ段階のため未定です。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	(被災者支援システム) 住基回線と接続し職員全員がアクセスできる環境づくり (DX) 業務効率化による職員の負担減	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可

掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG等)」を数枚程度貼り付けて下さい。

